

第5学年1組 学級活動指導案

指導者 大石 瑞枝

1 主題名 楽しい学級を作ろう

2 目標

- (1) 集団の楽しさを実感し、よりよい学級を作っていこうとすることができる。
- (2) 友達の存在のよさに気づき、積極的に他者と関わっていこうとすることができる。

3 本主題の指導の構え

(1) 子どもたちの実態

本学級は、1年生からの単学級として5年目を迎えた。男子16名、女子9名の明るく元気な子ども達である。係活動や当番活動では、自分の仕事が終わったら友達を手伝うなど、協力して活動する姿が増えてきた。また、学校行事や委員会活動など、高学年の一員として参加する場面も多くなることで、低学年の世話をするなど高学年としての役割を果たそうという意識も高まりつつある。

しかし、反面、いざというときは、男女に分かれてしまったり、「この子は、こうだから。」と決めつけた見方をしたりするような場面もまだ残っている。これは、固定された人間関係の中で学校生活を送ってきていることに起因しており、友達としての慣れや親しみはあるものの、互いのよさを再発見したり、新たな人間関係を作ったりするが、あまり経験できていないからだと思われる。

このような実態から、社会的な認識能力や思考能力が発達し、視野が広がるとともに、自分の立場を自覚することのできるこの時期に本主題を取り上げる。そして、友だちや集団のよさに改めて気づき、より豊かな人間関係を作り上げようとする意欲を高めていく。

(2) 主題に対する考え方及び教材の価値

高学年の仲間集団は、開放的で柔軟なものへなる傾向にあり、活動の場も広がっていく。また、第二次性徴期に入るため、男女を意識するが、多様な経験を通して協同的な態度を引き出すこともできる。本主題に関しては、ピア・サポートのエクセサイズを取り入れることで、男女の区別なく、友達として触れあい、活動することで学級集団としての高まりをねらうものである。このことは、夏休みの野外活動や二学期の学校行事で高学年としてのよりよい関わり方へとつながっていく。

(3) 支援への考え方

本時指導にあたっては、友だちの存在価値や共に活動する喜びに気づき、よりよい学級集団を作っていこうという意欲を高めていくことを主なねらいとしている。そのために、今までずっと一緒だった友だちとの関わりについて、改めてを見なおしたり、深めたりする活動を行っていく。

まず「である段階」では、『友だちがいてよかった』と思うのは、どんなときかを出し合い、学習の方向づけを図る。

次に「つくる段階」では、個人の一言アピールを書き込んだカードを交換するウォーミングアップのエクセサイズを行い、男女を問わない親しみのある仲間作りの雰囲気を感じさせる。

更に「深める段階」では、ペアで協力して課題解決を行うエクセサイズを行うことで、友達と何かをすることの楽しさや充実感を実感させる。

最後に「生かす段階」では、今日の活動を振り返る。そして、積極的に友だちとの関わりを広げたり、深めたりするための自分の取り組みを考え、これからの友だちとのよい関係作り、集団作りへの意欲を高めていく。

事後の指導として、学校行事や特別活動等を通しての学級集団作りを行っていく。

4 指導計画

- (1) 友達との活動を通して、よりよい学級集団について考える。(本時) 1 / 1
- (2) 学校行事や学活、児童会活動等の中で、学級集団や高学年としてのあり方について考える。(随時)

※ 福田オリンピックの企画・運営、古代体験活動、プール掃除等

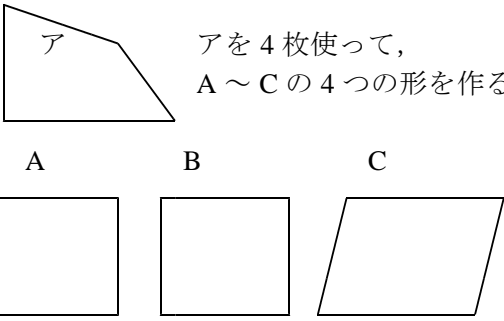
5 主眼

- 毎日の生活をより楽しくしくための、友達とのよりよい関わり方を考えることができる。

6 準備

名刺カード，エクセサイズ②の問題，学習ノート，一年生時の写真等

7 展開

段階	学習活動と内容（*）	教師の支援と評価
であ う ／ つ く る ／ 深 め る ／ 生 か す	<p>1 友達がいることよさを出し合い、本時学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はげましてくれる。 ・楽しい。 ・助けてくれる ・一緒に遊べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友達と一緒に活動するよさを考えよう。</p> </div> <p>2 〈ピア・サポート①〉「名刺交換自己紹介」を行う。</p> <p>(1) あいさつを交わし、ジャンケンをして、自分を紹介する名刺をやり取りし、信頼関係を改めて見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> *男女が混じり、違う人の名刺を集める。 <p>(2) 活動後、カードの一言アピールを読んだり、活動の感想を出し合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのカードが集まって嬉しい。 ・～くんのこんなことを初めて知った。 *自分からの働きかけやスキシップが大切であること。 <p>3 〈ピア・サポート②〉「こんな形作れるかな？」を行う。</p> <p>(1) 二人組で四つの四角形を組み合わせ、三つの図形を作り出す。友達と協力して課題を解決することを体感し、楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からなかったけど、協力したらできた。 ・教えてもらって、完成した。 ・二人で考えたので速くできた。 ・完成したら、嬉しかった。 *互いの考えを伝え合うこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お互いのことをもっと知り合い、信頼し合える仲間を作ることで、毎日の生活はより楽しくなる。</p> </div> <p>4 学習をふり返り、今後の学校生活や友達との関わり方について考え、実践への意欲を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでいろいろな活動を計画して、実行してみる。 ・自分から友達に声をかけていく。 ・登校時、低学年と手をつないであげたい。 	<p>○ 友達の存在価値を確認することで、改めて友達への意識を高める。</p> <p>○ 名刺カードは、事前に準備させておき、手順が分かるような掲示物を準備することで十分に活動する時間を作る。</p> <p>○ 教師も一緒に活動し、意欲を高める。</p> <p>○ エクセサイズの問題用紙と提示するモデルを準備し、活動の内容把握を確実にする。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  <p style="margin-left: 100px;">アを4枚使って、 A～Cの4つの形を作る。</p> </div> <p>○ これまでの友達との関係を想起したり、成長を感じることが出来る写真などを提示し、さらにより集団にしていこうとする意欲を高める。</p> <p>（評価項目）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お互いの考えを伝え合いながら活動し、受け入れられることの心地よさや大切さに気づくことができる。</p> </div>